

< 報道発表資料 >

令和 8 年 6 月 1 2 日

京都市環境政策局循環型社会推進部資源循環推進課

令和 7 年度のごみ量

令和 7 年度のごみの市受入量は、ピーク時（平成 1 2 年度）から 2 5 年連続で減少し、3 6.1 万トンとなりました。ごみ焼却量及び最終処分量もピーク時以降、最少となりました。これらは、長年にわたる市民・事業者の皆様のご御尽力の結果です。

今後も、「京（みやこ）・資源めぐるプラン 2025 改定版」に掲げる目標の着実な達成を目指し、市民・事業者の皆様とともに、ごみの発生抑制と資源循環を推進していきます。

	平成 12 年度 (ピーク時)	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 12 年度 (目標)
市受入量 ^{※1}	82 万 t	36.5 万 t	36.1 万 t	34.0 万 t
ごみ焼却量 ^{※2}	76 万 t	33.0 万 t	32.8 万 t	30.0 万 t
最終処分量 ^{※3}	16.5 万 t	4.3 万 t	4.0 万 t	4.0 万 t

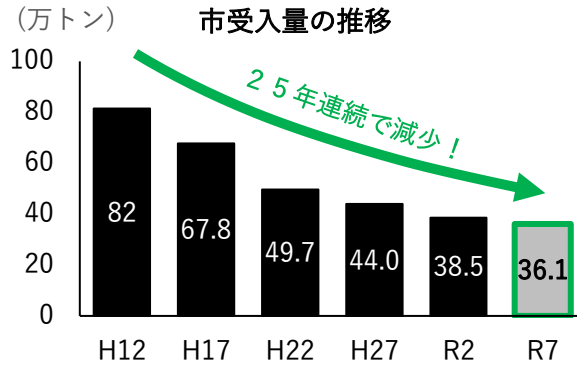
※ 1 市の処理施設で受け入れるごみの量。2 R 等の取組の効果指標

※ 2 市のクリーンセンターで焼却するごみの量。2 R 及び分別・リサイクルの取組の効果指標

※ 3 市が最終処分(埋立て)するごみの量

【市受入量の詳細】

事業ごみは前年度からほぼ横ばい（対前年度比 + 0.3%）であった一方で、家庭ごみが減少（対前年度比▲2.1%）したことにより、市受入量（総合計）は 0.4 万トンの減少（対前年度比▲1.0%）となりました。



	平成 12 年度 (ピーク時)	令和 6 年度	令和 7 年度	対ピーク時比較		対前年度比較	
				増減量	増減率	増減量	増減率
家庭ごみ	35 万 t	18.8 万 t	18.4 万 t	▲16.1 万 t	▲47%	▲0.4 万 t	▲2.1%
うち、燃やすごみ	32 万 t	15.8 万 t	15.5 万 t	▲16.0 万 t	▲51%	▲0.3 万 t	▲2.1%
うち、資源ごみ	2 万 t	2.5 万 t	2.4 万 t	+0.7 万 t	+39%	▲0.1 万 t	▲2.3%
事業ごみ	47 万 t	17.7 万 t	17.7 万 t	▲29.3 万 t	▲62%	+0.0 万 t	+0.3%
総合計	82 万 t	36.5 万 t	36.1 万 t	▲45.4 万 t	▲56%	▲0.4 万 t	▲1.0%

(注 1) 一部、四捨五入の関係で各量と合計量（増減量）が一致しないことがある。

(注 2) 家庭ごみには、燃やすごみ、資源ごみのほか、大型ごみ、街頭ごみ、不法投棄ごみなどがある。

<令和6年度の1人1日当たりのごみ量について>

環境省調査^{※1}では、京都市の令和6年度の1人1日当たりのごみ量^{※2}は732gとなりました。令和5年度値742gから10g減少し、政令指定都市の平均値(852g)より約14%少ない量になっています。

※1 環境省一般廃棄物処理実態調査(令和8年3月公表)

※2 市受入量(家庭ごみ、事業ごみ)のほか、集団回収量を合算した量

<お問合せ先>

京都市環境政策局循環型社会推進部資源循環推進課

電話：075-222-3946